



ぎょうじしょく

行事食について知ろう

じゅうごや
～十五夜～



じゅうごや ねん いちばんつき み ひ そな もの つき み
十五夜は、1年で一番月がきれいに見えるといわれている日です。お供え物をして、きれいな月を見ながら、
のうさくぶつ しゅうかく かんしゃ きゅうれき じゅうごや まいとし ひ か
農作物の収穫を感謝しましょう。旧暦の8月15日が十五夜なので、毎年日にちが変わります。

こんだてめい 【献立名】

ぶたどん ぎゅうにゅう つきみ
豚丼・牛乳・さといもコロッケ・おかかあえ・月見だんご

そな た もの お供えする食べ物

つきみ ◆月見だんご

ちいき かたち こと まんげつ み た まる かたち
地域によって形が異なります。満月に見立てた丸い形や
さといも み た かたち
さといもに見立てた形のだんごなどがあります。



かんとう ち ほう
関東地方



あい ち けん な ご や し
愛知県 名古屋市



かんさい ち ほう
関西地方

ことし じゅうごや
今年の十五夜は、

9月29日です。

きょう きゅうしょく つきみ
今日の給食の「月見だんご」は、さといもにみたてた形^{かたち}で、愛知県名古屋市^{あい ち けん な ご や し}で
た
食べられているものです。

のう さく ぶつ ◆農作物

かき あき しゅうかく や さい くだもの そな
さといもや柿など秋に収穫される野菜や果物を供えます。
きょう きゅうしょく つか
今日の給食の「さといもコロッケ」に、さといもが使われています。

